

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

## ① 活動の目的

人工化装置により人工化させたホタルをビオトープを用いて飼育及び観察をするためです。

## ② 活動の内容

### ① ビオトープの造り

まず、水を流す人工の川を造る為に、後に川となる溝を造りました。溝を造るには、まず丸木で川のフインをとります。それとラインの外側に土を盛ると溝ができます。水を流して2、3週間おき、ビオトープをおちつかせてから、底に川石や砂をしきつめ、さらに1ヶ月ほど放置する。

#### ビオトープの造成



明日香村栢



明日香村小山

放置している間にセキレイやスズメから水あひびに  
おてきたり、タテハ等の類も観察できるようになった。

昨年の11月に人工化から、飼育していたゲンジホタルの幼虫20匹を放流して、観察中である。

#### ゲンジホタルの人工飼育



幼虫飼育槽



羽化水槽



幼虫を羽化水槽へ移す

### ② ゲンジホタルの人工飼育

写真①は、人工化したゲンジホタルの幼虫を飼育する飼育木曹です。カワニナが中に入っており、幼虫の餌になります。私達の研究では幼虫1匹あたり、カワニナ28〜30匹が必要で。

②の写真は成長して土にもくいる幼虫を羽化させるため羽化水木曹です。

③の写真は、幼虫を羽化水木曹へ移動している所です。

